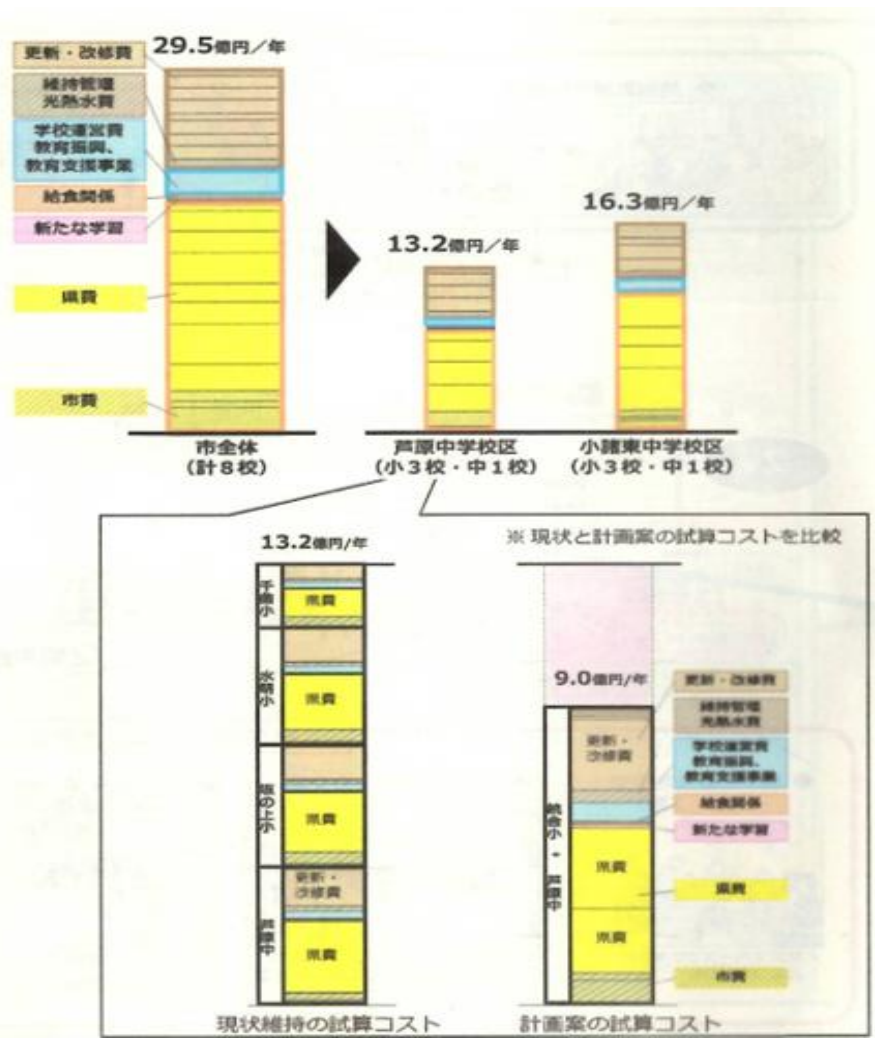


芦原中学校区再編によるコスト低減効果

小諸市学校再編計画R5/7/25より抜粋、
作成者小林一彦



現在

小諸東中学校区 16.3億円

芦原中学校区 13.2億円

芦原中学校区再編後

9 億円

現状維持より 4 億 2 千万円 低減

学力向上を重視した適正な学級規模は？

- **対象学年と学級規模**

- ・ 小学校1～6年生： 1学級あたり **最大25人**
- ・ 中学校1～3年生： 1学級あたり **最大30人**

- **学力向上**

- ・ 教員が児童生徒一人ひとりの理解度や学習状況を把握し易くなる。
- ・ 授業中の発言機会や参加率が高まり、主体的な学びが促進される。

- **学習意欲の向上**

- ・ 学習困難な児童への支援が行き届き、成功体験を積みやすくなる。
- ・ 教師との信頼関係が築きやすく、安心して学べる環境が整う。

- **教師の指導力発揮**

- ・ 教師が教材研究や個別対応に時間を割けるようになり、授業の質が向上。
- ・ 学級運営の負担軽減により、教育活動への集中が可能。

不登校対策を重視した場合の適正学級規模は？

学校段階	望ましい人数（目安）	背景・根拠
小学校	20～25人程度	個々の行動変化に気づきやすく、信頼関係を築きやすい。 低学年では20人以下 が理想。
中学校	25人前後	思春期特有の悩み・トラブルが顕在化しやすく、支援や声かけの頻度を高める必要あり。

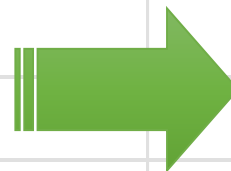
どうなる？ 学級数、教職員数

小諸市学校再編計画R5/7/25より抜粋、
作成者小林一彦

現状維持 R10年予想

3 小学校 合計	児童数（人）		557
	学級数（学級）		28
	1クラス当たり人数		20
	教職員	担任	29
		特支学級	7
		専科	7

芦原 中学校	児童数（人）		343
	クラス数（学級）		12
	1クラス当たり人数		29
	教職員	担任	23
		特支学級	0
		専科	—



再編後どうなる？

義務 教育 学校	児童数（人）		900
	学級数（学級）		?
	1クラス当たり人数		?
	教職員	担任	?
		特支学級	?
		専科	?